田辺市
洪水ハザードマップ
【修正版】

もしもの災害から
身を守る備えをしましょう

修正版（保存用）
- 令和2年2月発行 -

田 辺 市

目次

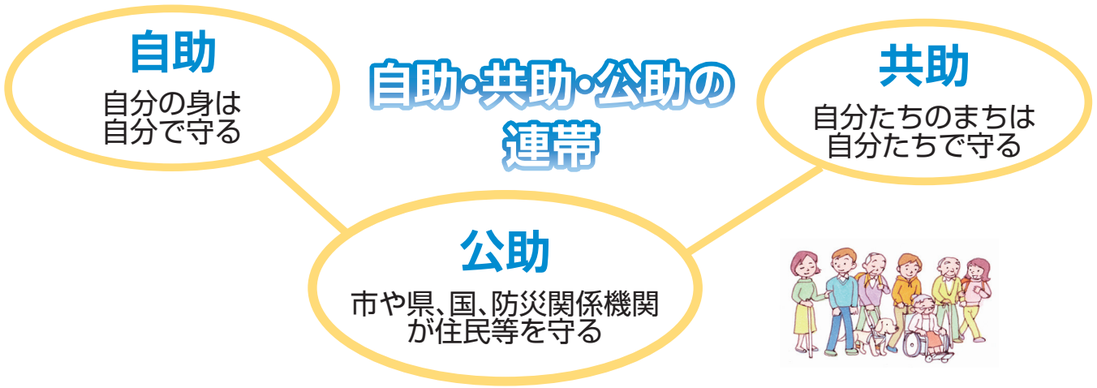
目次/自助･共助･公助について
田辺市洪水ハザードマップについて ……1
左会津川･芳養川索引図 ……2～3
左会津川浸水想定区域図 ……4～19
熊野川･大塔川索引図 ……20～21
熊野川浸水想定区域図 ……22～33
大塔川（浸水実績図） ……34～35
芳養川（浸水実績図） ……36～39
決壊のおこり方と被害 ……40
気象庁からの気象情報（注意報･警報）/避難勧告等の避難情報について ……41
雨の強さと降り方、災害発生の目安/大雨の際の危険箇所
風水害から身を守るには（日頃の備え）……42
洪水発生時における避難の心得 ……43
災害情報の入手/洪水に備えた事前の心構え ……44
非常持出品/備蓄品/実践してみようローリングストック法……45
我が家の防災メモ/災害用伝言ダイヤルの利用方法 ……46

自助・共助・公助について

災害に強いまちを作るために

自助･共助･公助

防災･減災のキーワードとして、「自助」「共助」「公助」という言葉がよく使われます。自助とは「自分の身は自分で守る」こと、共助とは「家族･近所でお互いに助け合い地域を守る」ことを指します。また公助とは「公的機関からの救済や支援」を指しています。災害の発生を完全に予見し防ぐことはできませんが、自助、共助、公助が連携し、効果的に機能することで、被害を減らすことが可能となります。



災害によって孤立した場合に、被害の軽減につながる最も重要な行動は「共助」であるといわれています。そのためにも、普段から住民同士の顔の見える関係づくりが何よりも大切です。

田辺市洪水ハザードマップについて

田辺市洪水ハザードマップ

田辺市洪水ハザードマップは、洪水による河川氾濫時における被害を最小限度に食い止めることを目的とし、予想される浸水の程度や避難施設等の各種情報をマップに表示して、緊急時の避難に役立てるものです。

左会津川流域浸水想定区域図

この浸水想定区域図は、左会津川水系左会津川の水位周知区間について、水防法の規定により想定最大規模降雨による浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。指定時点の左会津川等の河道整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により左会津川等が氾濫した場合の浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。

このシミュレーションにあたっては、支川の決壊による氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水（河川に排水されずに氾濫した水）による氾濫を考慮していませんので、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

熊野川流域浸水想定区域図

この浸水想定区域図は、新宮川水系熊野川の洪水予報区間について、水防法の規定により指定された浸水想定区域と、当該区域が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。指定時点の熊野川の河道の整備状況を勘案して洪水防御に関する計画の基本となる降雨により、熊野川が氾濫した場合に想定される浸水状況をシミュレーションにより求めたものです。

なお、設定した雨量に満たない降雨でも、降り方により同規模以上の浸水が発生したり、設定雨量を超える降雨があった場合は、浸水区域、浸水深が大きくなるなど、異なる場合があります。

このシミュレーションにあたっては、支川及び派川の氾濫、高潮及び内水（河川に排水されずに氾濫した水）による氾濫を考慮していません。また、微地形による影響が表せていない場合があり、着色していない区域においても浸水が発生する場合や想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

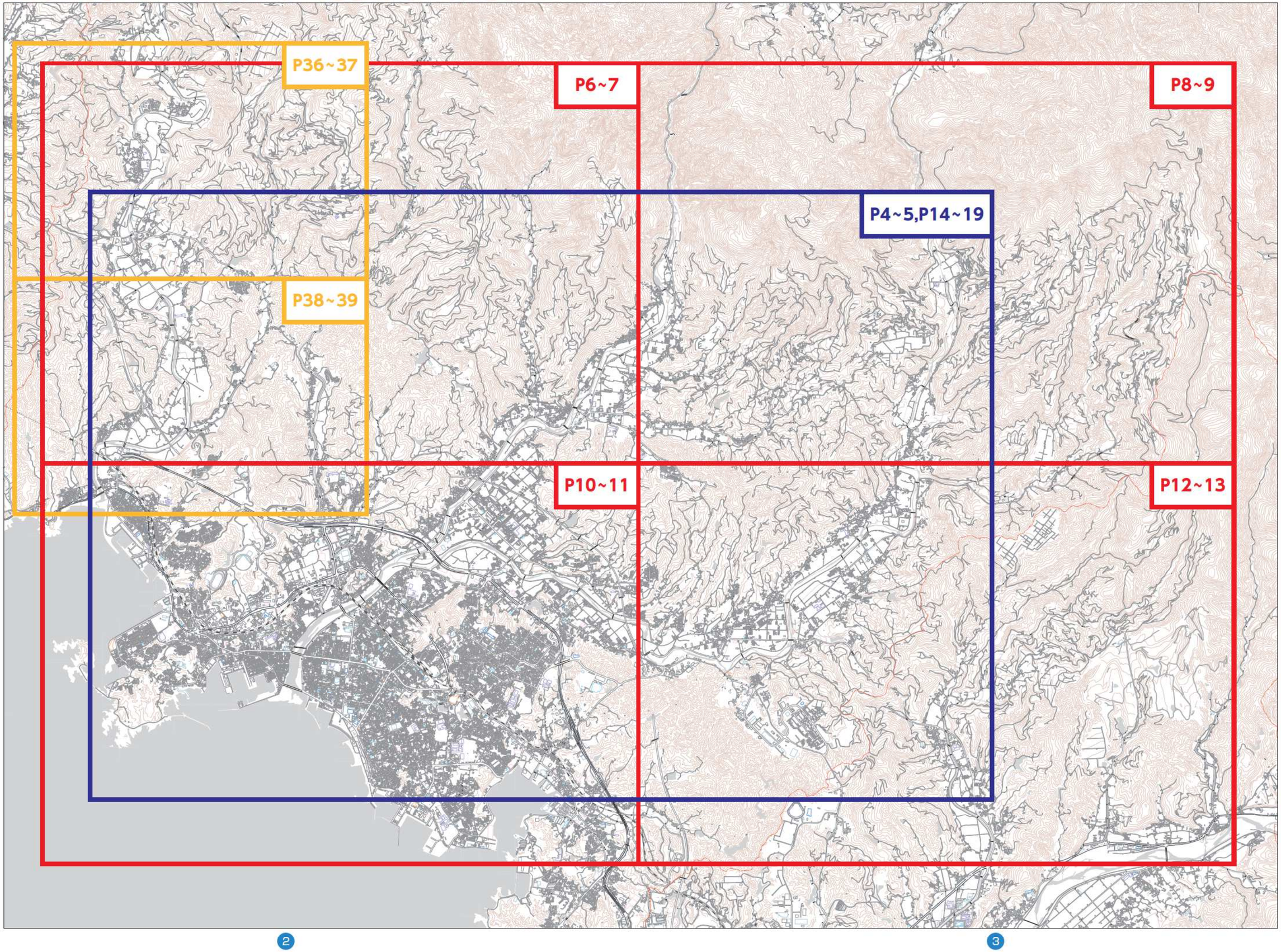
なお、三重県側の浸水想定区域は考慮しておりません。

芳養川･大塔川浸水実績図

この実績図は過去の豪雨により、河川が増水･氾濫した時の浸水範囲を、聞き取り調査や過去の浸水写真をもとに浸水位を算出し、周囲の地形や地盤高を考慮して求めたものです。

なお、この図に示した浸水範囲以外にも浸水している場合もありますので、ご留意ください。

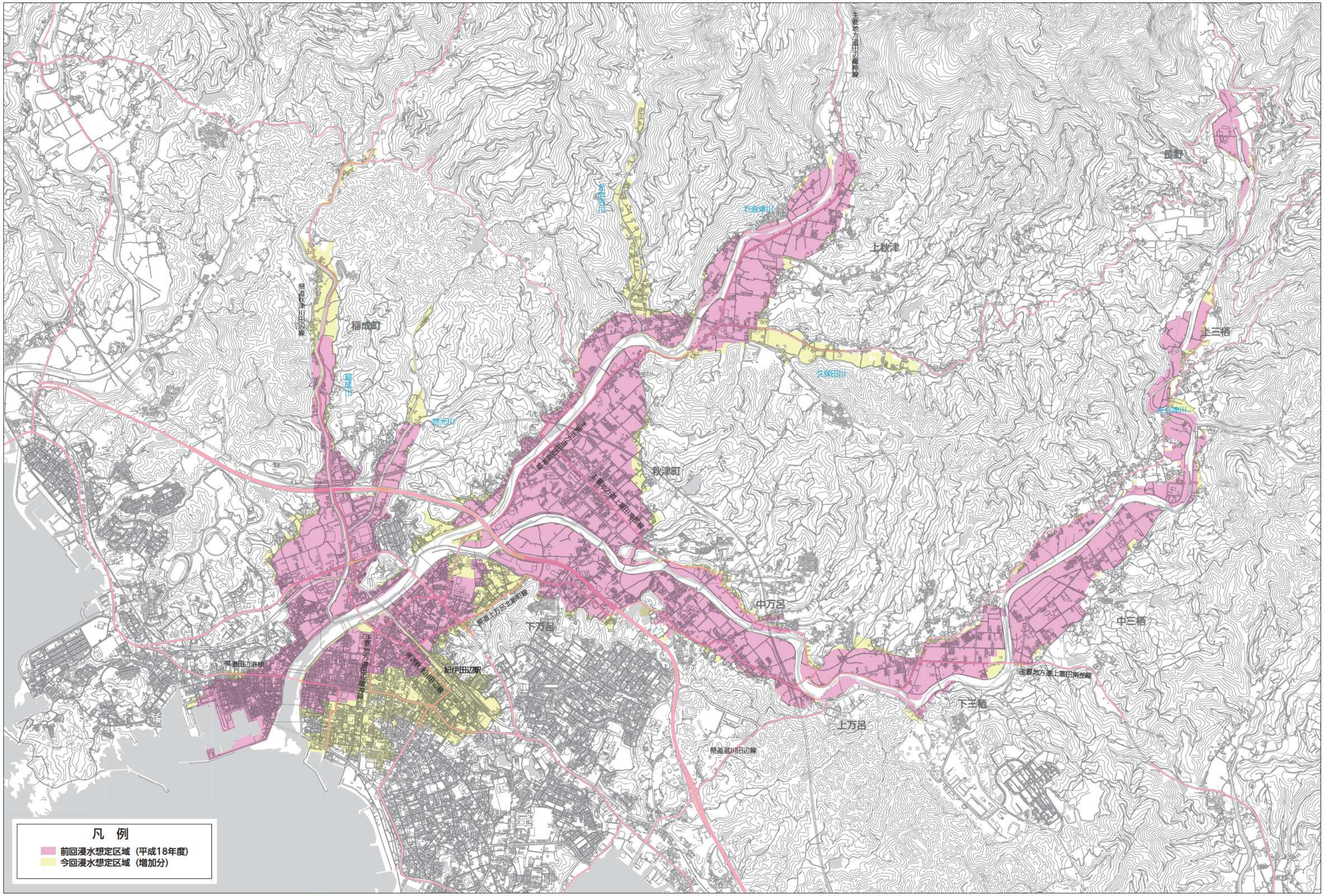
左会津川水系左会津川・芳養川　索引図



N
0　500　1km
縮尺　1：35,000

図面［左会津川（想定最大（全図））］今回・前回浸水想定区域

N
0　200　400m
縮尺　1：22,000



図面 [左会津川 (想定最大 (区域))]

N

0　150　300m

縮尺　1：15,000

	指定避難所	災害により帰宅できなくなった方が一定期間滞在が可能な施設
	指定緊急避難場所	洪水等の災害が発生し又は発生のおそれのある場合に、緊急かつ一時的に避難する場所

避難先の安全レベル	★★★	浸水が発生した場合でも十分に安全な避難先
	★★	浸水が発生した場合でも一定の安全を確保することが可能である避難先

種別　避難先の名称　安全レベル

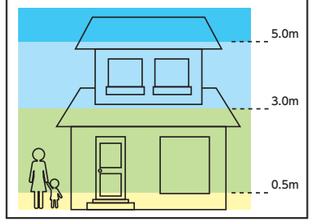
○○小学校　★★★

指定緊急避難場所

指定避難施設名	所　在　地	収容人員
宝満寺	秋津町630	43
上秋津農村環境改善センター	上秋津2083-1	143
上秋津小学校	上秋津2196-1	210
中芳養小学校	中芳養1815	226
中芳養中学校	中芳養273-2	333
大坊小学校	芳養町3944	35
芳養児童センター	芳養町1725-28	77
はやざと保育所	芳養町1774-9	79

浸水想定区域図 凡　例

- 5.0～10.0m 未満の区域
- 3.0～5.0m 未満の区域
- 0.5～3.0m 未満の区域
- 0.5m 未満の区域



浸水想定区域図の説明

(1)この図は、和歌山県が管理する左会津川、右会津川、稲成川、荒光川、左向谷川、久保田川が洪水によって氾濫した場合に予想される浸水範囲(以下、浸水想定区域)や浸水の深さなどを表示したものです。

(2)この浸水想定区域等は、指定時点の左会津川等の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により左会津川等が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、想定を超える降雨による氾濫、対象河川以外の氾濫、高潮及び内水による氾濫(小河川や水路の氾濫)等は考慮していませんので、浸水想定区域が示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

図面 [左会津川 (想定最大 (区域))]

N

0　150　300m

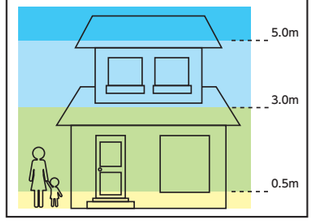
縮尺　1：15,000

指定緊急避難場所

指定避難施設名	所　在　地	収容人員
上秋津中学校	上秋津2263-2	484
上秋津幼稚園	上秋津4524-4	87
長野小学校	長野641	252
東原多目的集会所	長野1146-2	50
旧長野中学校	長野1401	389

浸水想定区域図
凡　例

- 5.0～10.0m 未満の区域
- 3.0～5.0m 未満の区域
- 0.5～3.0m 未満の区域
- 0.5m 未満の区域



浸水想定区域図の説明

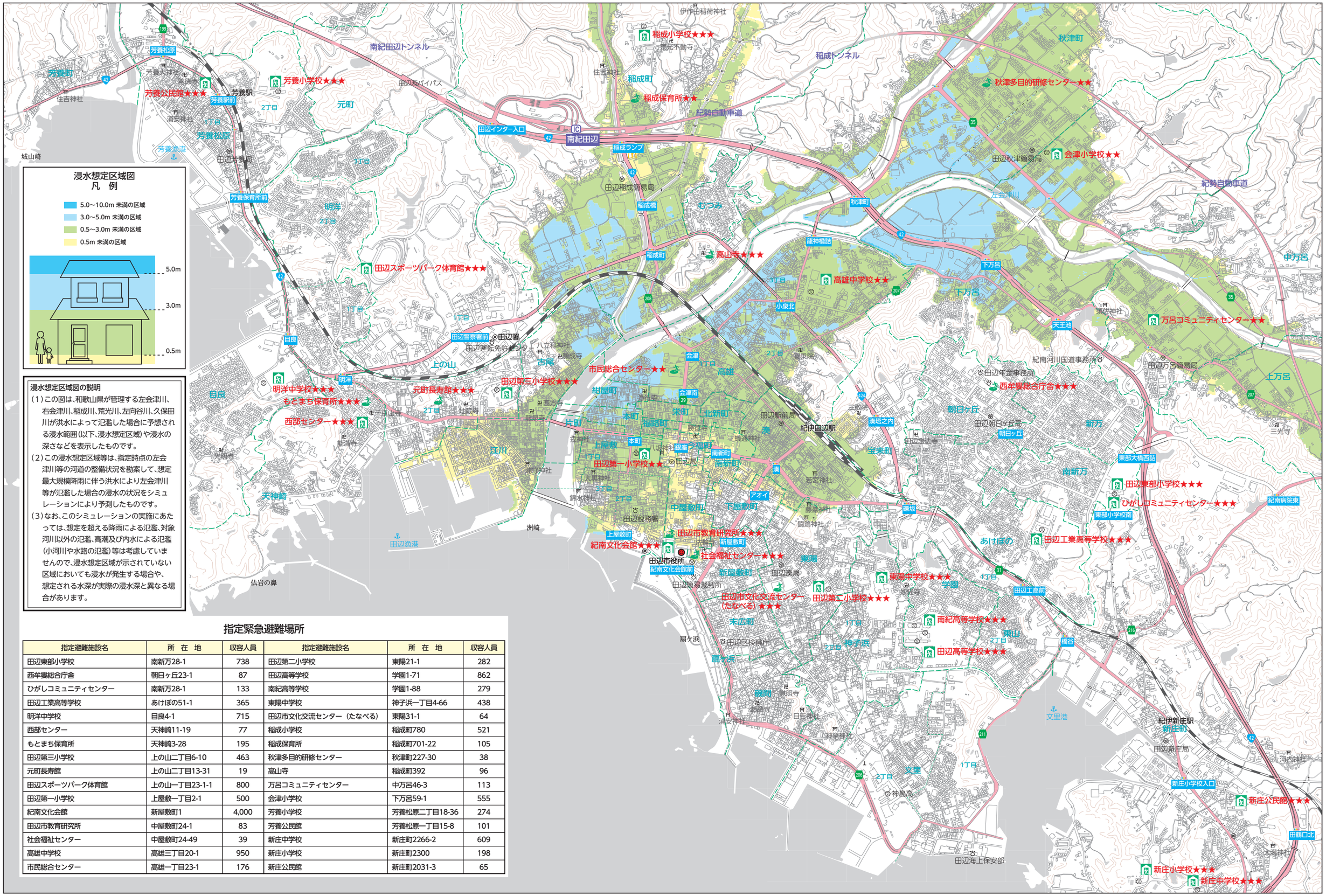
(1)この図は、和歌山県が管理する左会津川、右会津川、稲成川、荒光川、左向谷川、久保田川が洪水によって氾濫した場合に予想される浸水範囲(以下、浸水想定区域)や浸水の深さなどを表示したものです。

(2)この浸水想定区域等は、指定時点の左会津川等の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により左会津川等が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、想定を超える降雨による氾濫、対象河川以外の氾濫、高潮及び内水による氾濫(小河川や水路の氾濫)等は考慮していませんので、浸水想定区域が示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

図面 [左会津川 (想定最大 (区域))]

N
0　150　300m
縮尺　1：15,000



指定緊急避難場所

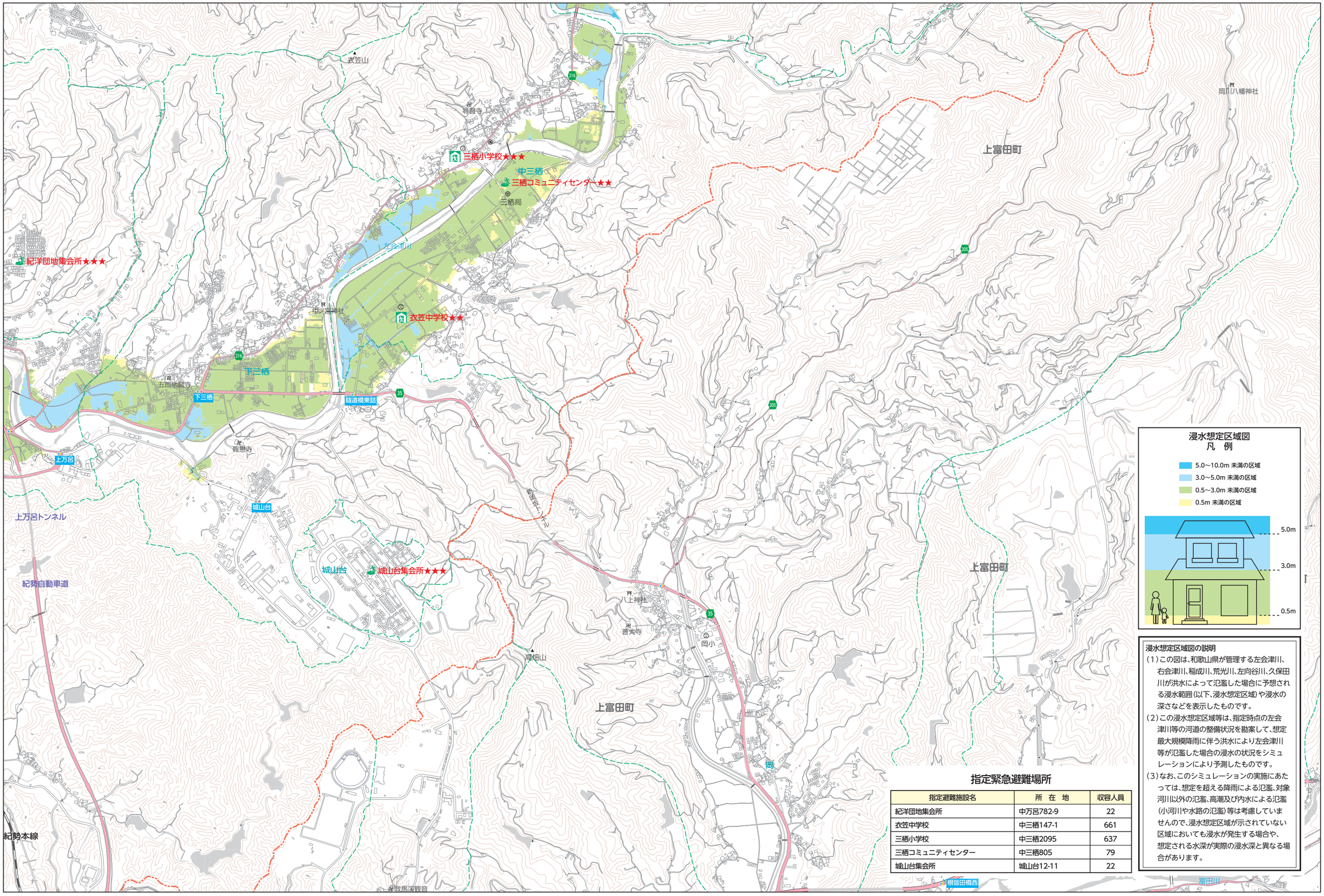
指定避難施設名	所　在　地	収容人員	指定避難施設名	所　在　地	収容人員
田辺東部小学校	南新万28-1	738	田辺第二小学校	東陽21-1	282
西牟婁総合庁舎	朝日ヶ丘23-1	87	田辺高等学校	学園1-71	862
ひがしコミュニティセンター	南新万28-1	133	南紀高等学校	学園1-88	279
田辺工業高等学校	あけぼの51-1	365	東陽中学校	神子浜一丁目4-66	438
明洋中学校	目良4-1	715	田辺市文化交流センター（たなべる）	東陽31-1	64
西部センター	天神崎11-19	77	稲成小学校	稲成町780	521
もとまち保育所	天神崎3-28	195	稲成保育所	稲成町701-22	105
田辺第三小学校	上の山二丁目6-10	463	秋津多目的研修センター	秋津町227-30	38
元町長寿館	上の山二丁目13-31	19	高山寺	稲成町392	96
田辺スポーツパーク体育館	上の山一丁目23-1-1	800	万呂コミュニティセンター	中万呂46-3	113
田辺第一小学校	上屋敷一丁目2-1	500	会津小学校	下万呂59-1	555
紀南文化会館	新屋敷町1	4,000	芳養小学校	芳養松原二丁目18-36	274
田辺市教育研究所	中屋敷町24-1	83	芳養公民館	芳養松原一丁目15-8	101
社会福祉センター	中屋敷町24-49	39	新庄中学校	新庄町2266-2	609
高雄中学校	高雄三丁目20-1	950	新庄小学校	新庄町2300	198
市民総合センター	高雄一丁目23-1	176	新庄公民館	新庄町2031-3	65

図面 [左会津川 (想定最大 (区域))]

N

0　150　300m

縮尺　1：15,000



浸水想定区域図 凡　例

- 5.0～10.0m 未満の区域
- 3.0～5.0m 未満の区域
- 0.5～3.0m 未満の区域
- 0.5m 未満の区域

浸水想定区域図の説明

(1)この図は、和歌山県が管理する左会津川、右会津川、稲成川、荒光川、左向谷川、久保田川が洪水によって氾濫した場合に予想される浸水範囲(以下、浸水想定区域)や浸水の深さなどを表示したものです。

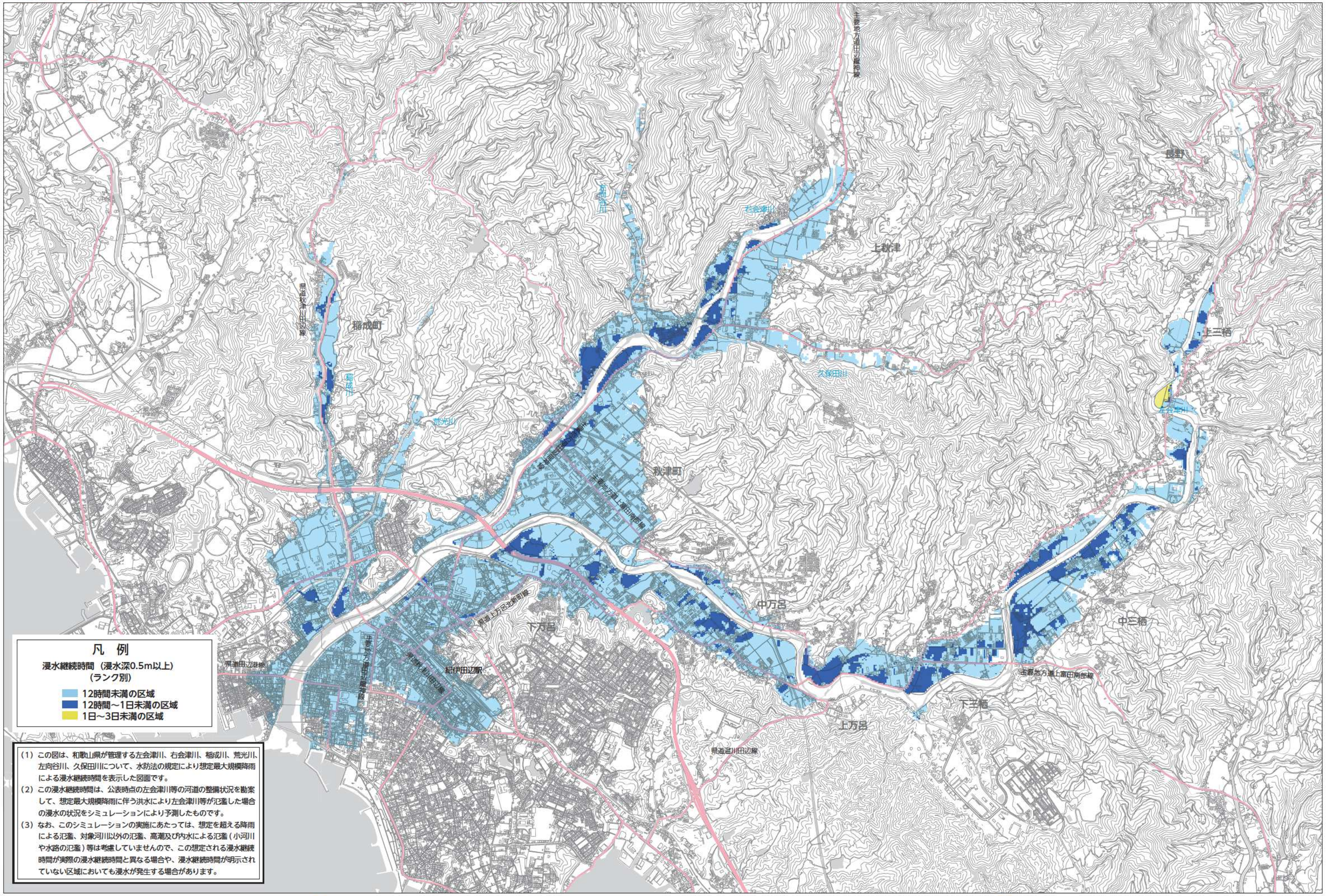
(2)この浸水想定区域等は、指定時点の左会津川等の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により左会津川等が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

(3)なお、このシミュレーションの実施にあたっては、想定を超える降雨による氾濫、対象河川以外の氾濫、高潮及び内水による氾濫(小河川や水路の氾濫)等は考慮していませんので、浸水想定区域が示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

指定緊急避難場所

指定避難施設名	所　在　地	収容人員
紀洋団地集会所	中万呂782-9	22
衣笠中学校	中三栖147-1	661
三栖小学校	中三栖2095	637
三栖コミュニティセンター	中三栖805	79
城山台集会所	城山台12-11	22

図面［左会津川（浸水時間（全図））］

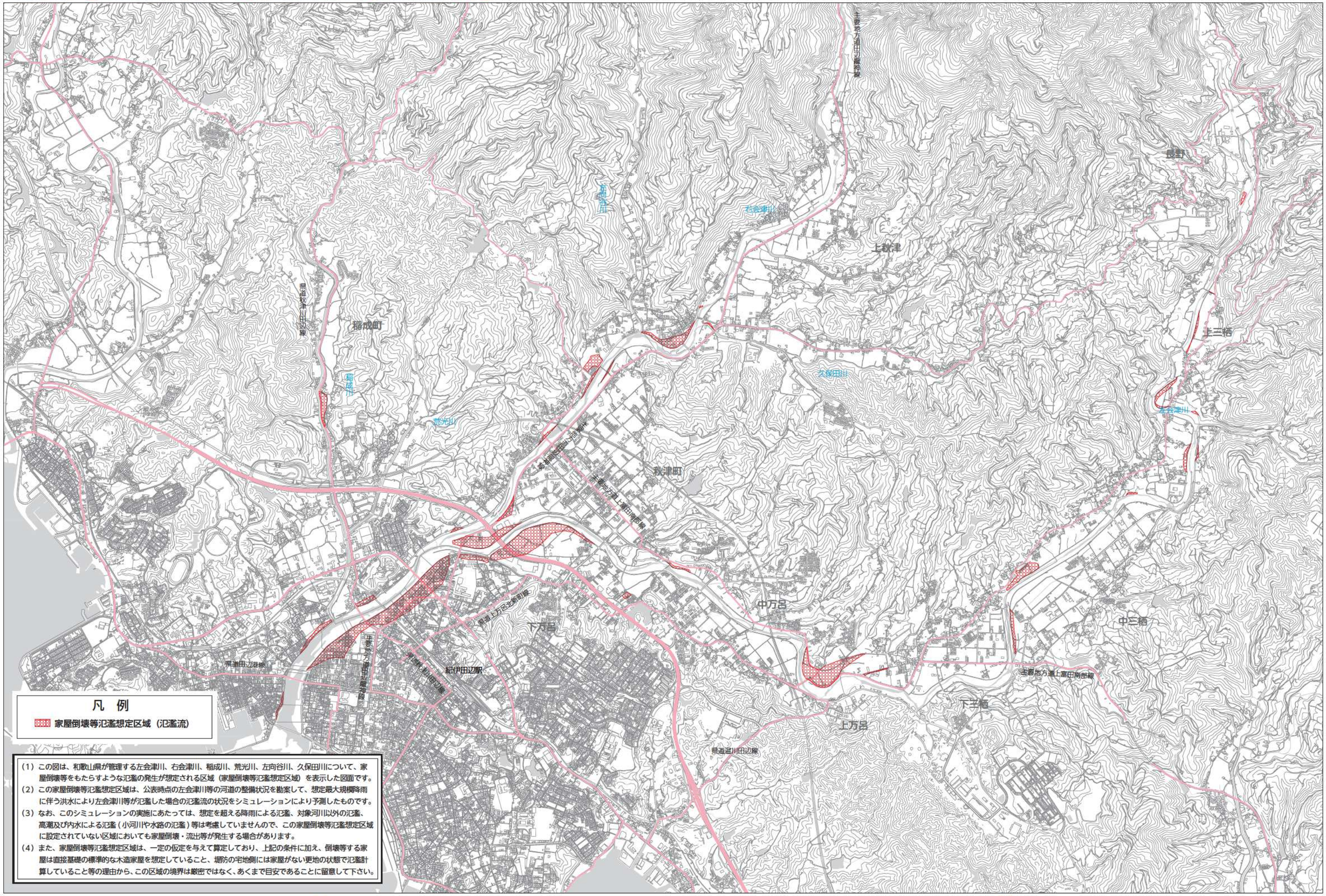


（1）この図は、和歌山県が管理する左会津川、右会津川、稲成川、荒光川、左向谷川、久保田川について、水防法の規定により想定最大規模降雨による浸水継続時間を表示した図面です。

（2）この浸水継続時間は、公表時点の左会津川等の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により左会津川等が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、想定を超える降雨による氾濫、対象河川以外の氾濫、高潮及び内水による氾濫（小河川や水路の氾濫）等は考慮していませんので、この想定される浸水継続時間が実際の浸水継続時間と異なる場合や、浸水継続時間が明示されていない区域においても浸水が発生する場合があります。

図面［左会津川（氾濫流（全図））］



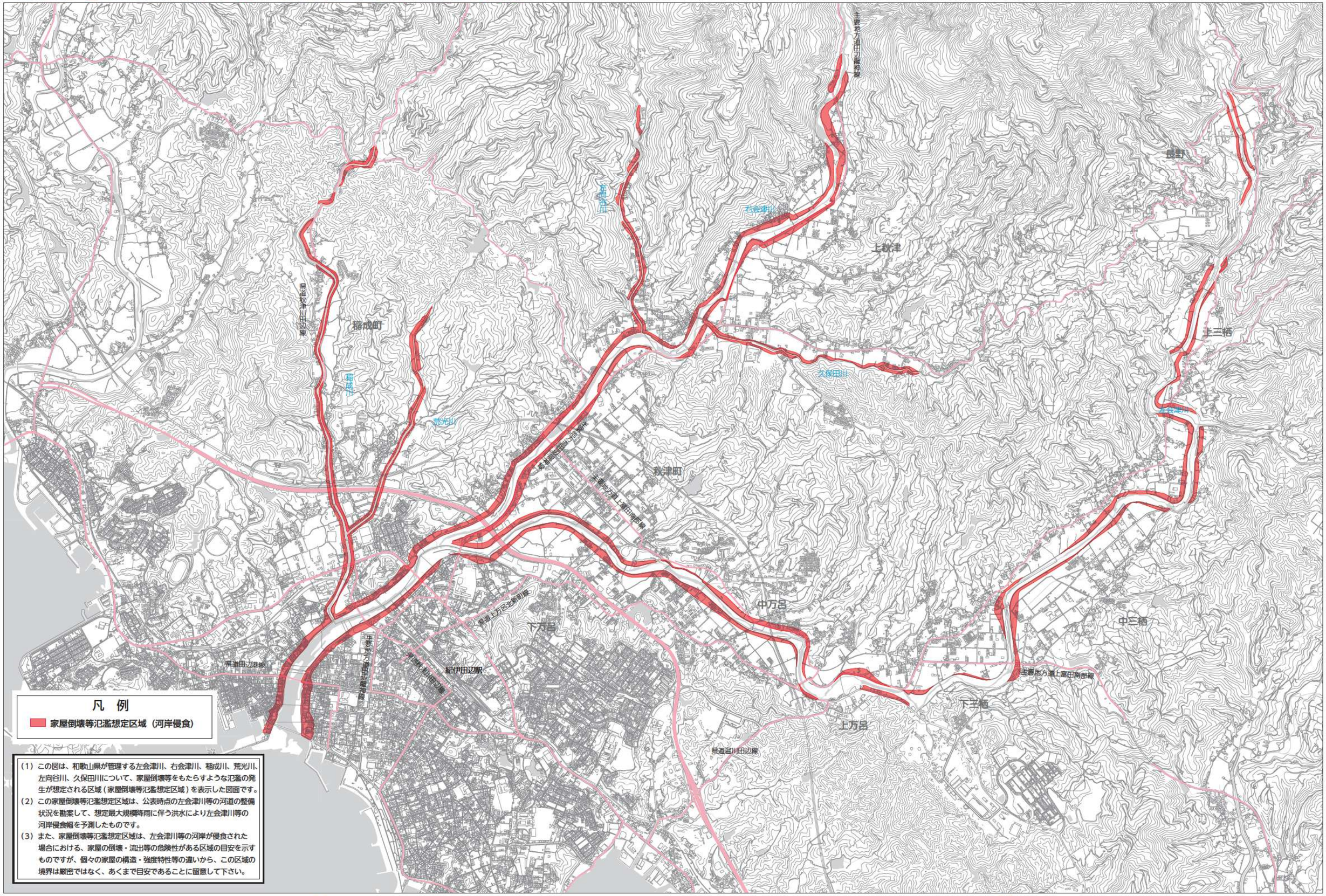
（1）この図は、和歌山県が管理する左会津川、右会津川、稲成川、荒光川、左向谷川、久保田川について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。

（2）この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の左会津川等の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により左会津川等が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、想定を超える降雨による氾濫、対象河川以外の氾濫、高潮及び内水による氾濫（小河川や水路の氾濫）等は考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に設定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。

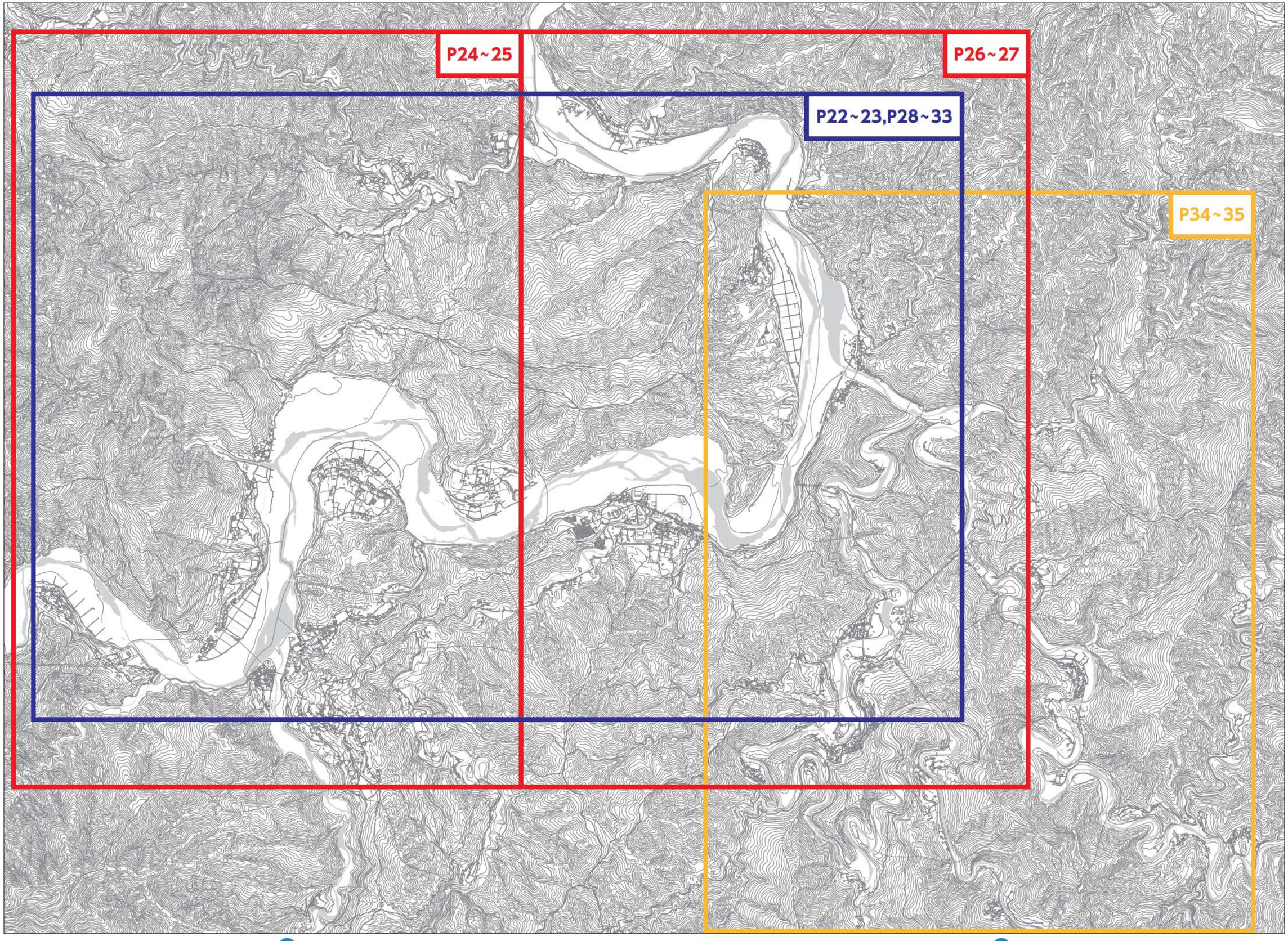
（4）また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、上記の条件に加え、倒壊等する家屋は直接基礎の標準的な木造家屋を想定していること、堤防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算していること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意して下さい。

図面［左会津川（河岸侵食（全図））］



（1）この図は、和歌山県が管理する左会津川、右会津川、稲成川、荒光川、左向谷川、久保田川について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。
（2）この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の左会津川等の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により左会津川等の河岸侵食幅を予測したものです。
（3）また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、左会津川等の河岸が侵食された場合における、家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものですが、個々の家屋の構造・強度特性等の違いから、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意して下さい。

新宮川水系熊野川・大塔川　索引図



図面［熊野川（想定最大（全図））］今回･前回浸水想定区域

N　0　200　400m
縮尺　1：20,000

凡　例
- 前回浸水想定区域（平成18年度）
- 今回浸水想定区域（増加分）

本宮町大津荷
本宮町小津荷
本宮町請川
本宮町高山
大塚川
熊野川
本宮町上切原
本宮町大居
迎村川
本宮町本宮
本宮町切畑
本宮町土河屋
本宮町伏拝
云越川

図面［熊野川（想定最大（区域））］

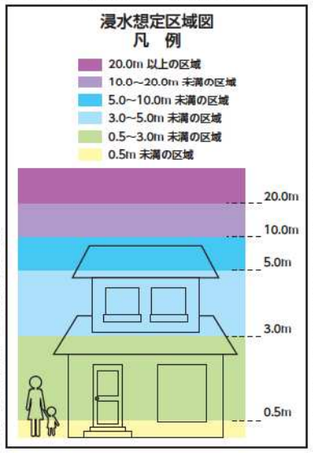
N　0　150　300m
縮尺　1：16,000

指定避難所		災害により帰宅できなくなった方が一定期間滞在が可能な施設
指定緊急避難場所		洪水等の災害が発生し又は発生のおそれのある場合に、緊急かつ一時的に避難する場所
避難先の安全レベル	★★★	浸水が発生した場合でも十分に安全な避難先
	★★	浸水が発生した場合でも一定の安全を確保することが可能である避難先

種別　避難先の名称　安全レベル
○○小学校　★★★

指定緊急避難場所

指定避難施設名	所在地	収容人員
田辺市立三里小学校	本宮町大居1653	116
土河屋集会所	本宮町土河屋234	15
八木尾集会所	本宮町切畑1260-1	9
上切原山振センター	本宮町上切原570	37
東光院	本宮町大居951-1	19
三里地区地域防災拠点施設	本宮町大居2055-3	21



浸水想定区域図の説明

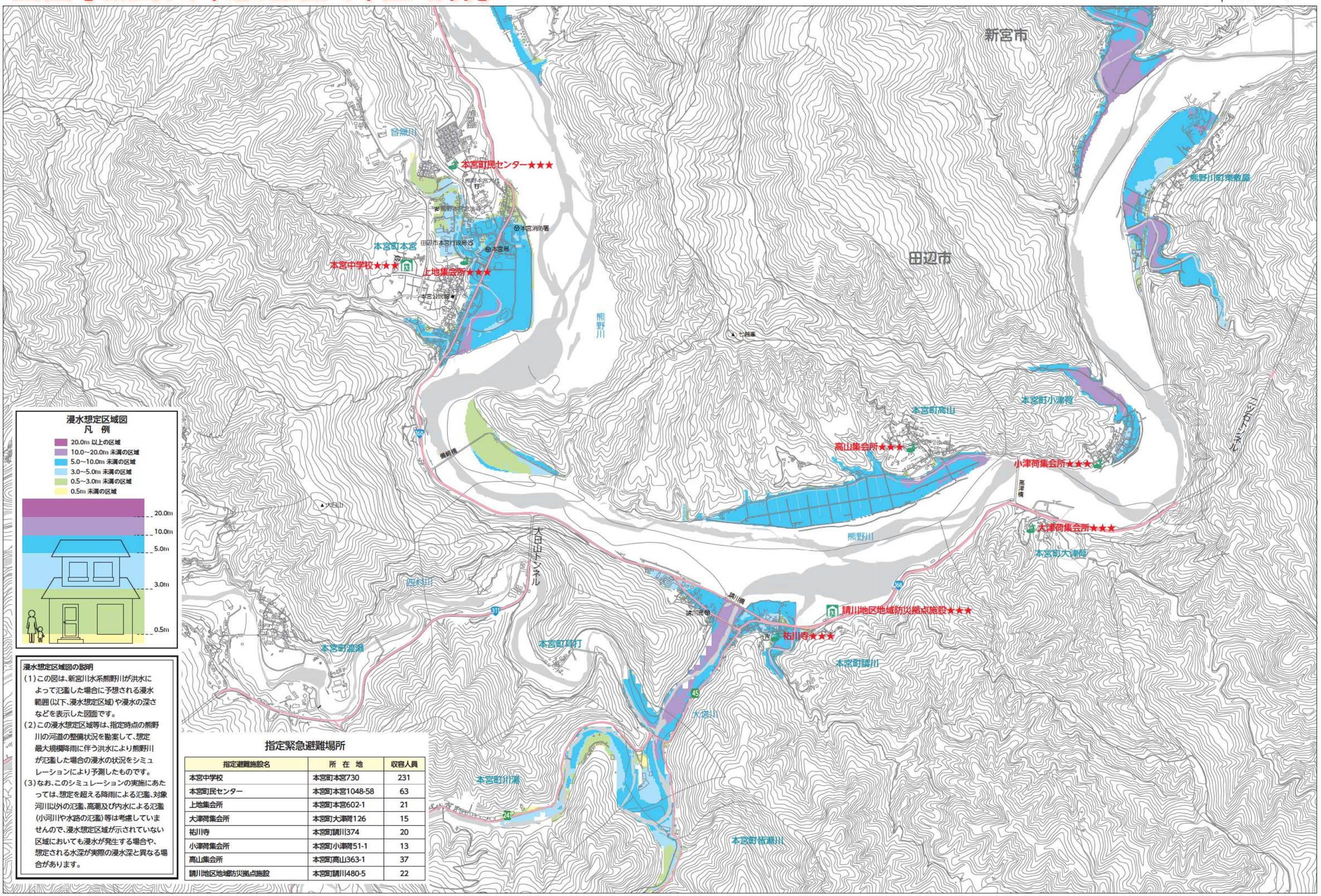
（1）この図は、新宮川水系熊野川が洪水によって氾濫した場合に予想される浸水範囲（以下、浸水想定区域）や浸水の深さなどを表示した図面です。

（2）この浸水想定区域等は、指定時点の熊野川の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により熊野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、想定を超える降雨による氾濫、対象河川以外の氾濫、高潮及び内水による氾濫（小河川や水路の氾濫）等は考慮していませんので、浸水想定区域が示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

土河屋集会所★★★
本宮町土河屋
土河屋トンネル
八木尾集会所★★★
本宮町切畑
本宮町上切原
上切原山振センター★★★
三越川
熊野川
奥熊野古道ほんぐう
本宮町伏拝
田辺市立三里小学校★★★
三里地区地域防災拠点施設★★★
東光院★★★
本宮町大居
下向橋
168
本宮町一本松

図面［熊野川（想定最大（区域））］



浸水想定区域図の説明

（1）この図は、新宮川水系熊野川が洪水によって氾濫した場合に予想される浸水範囲（以下、浸水想定区域）や浸水の深さなどを表示した図面です。

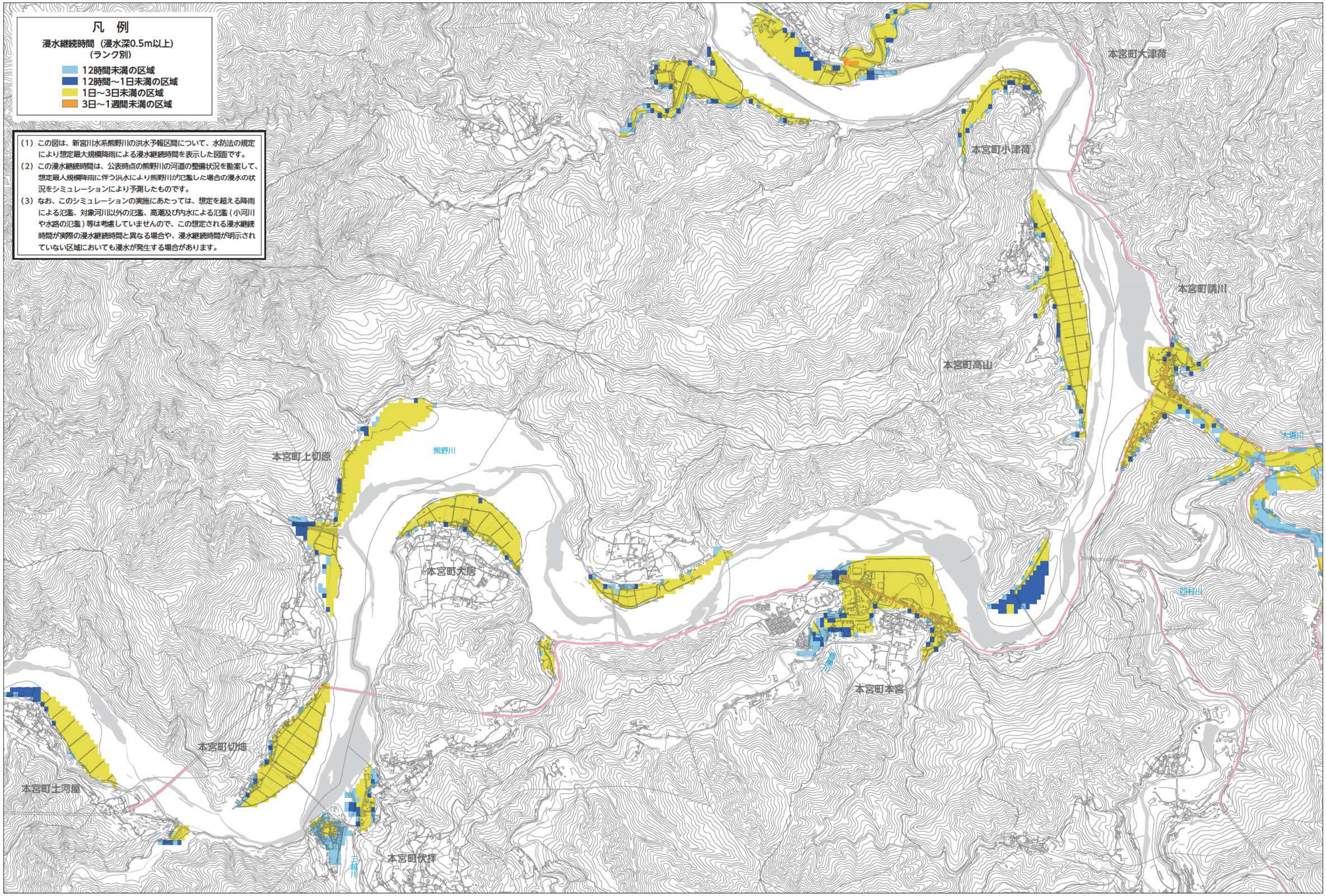
（2）この浸水想定区域等は、指定時点の熊野川の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により熊野川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、想定を超える降雨による氾濫、対象河川以外の氾濫、高潮及び内水による氾濫（小河川や水路の氾濫）等は考慮していませんので、浸水想定区域が示されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

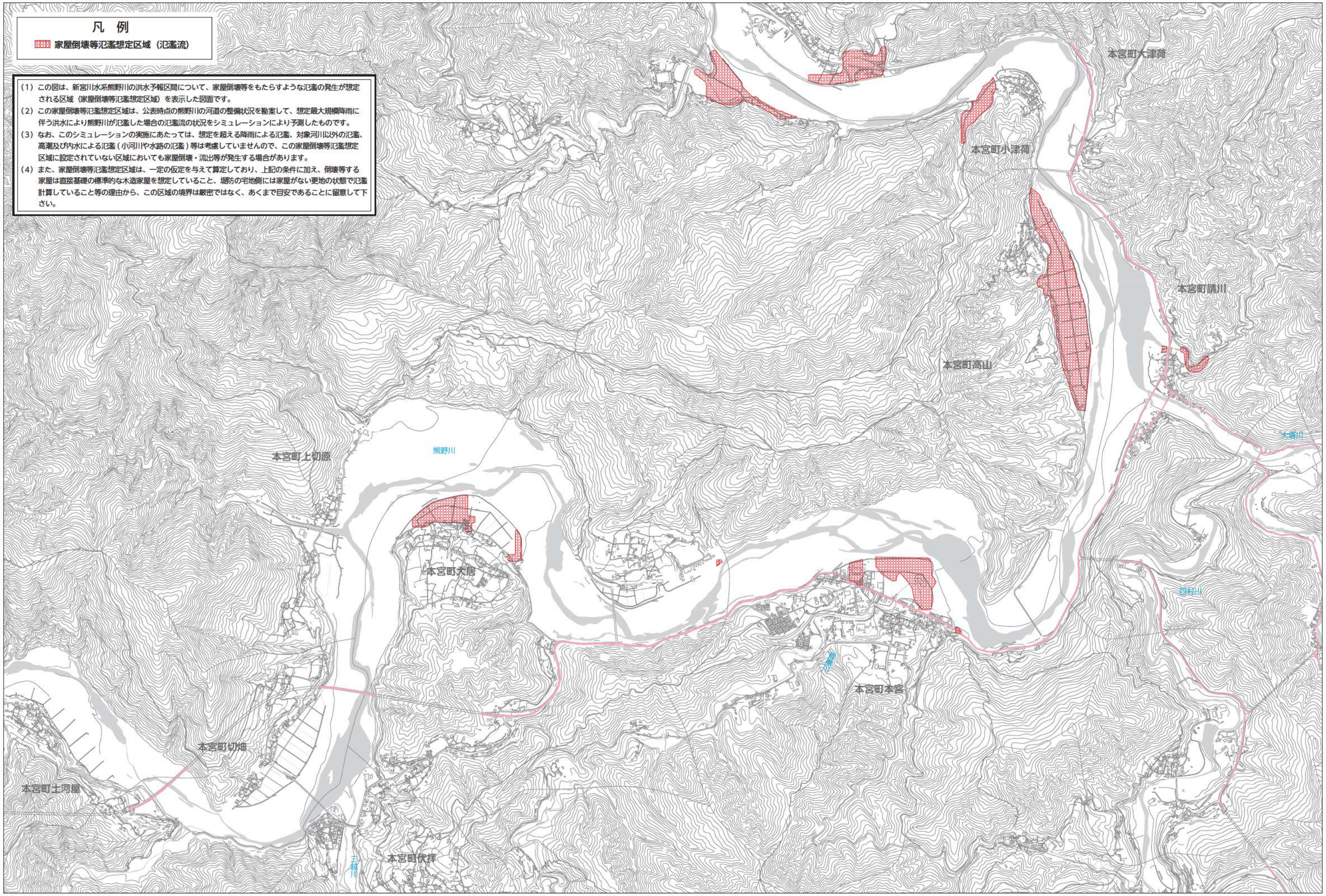
指定緊急避難場所

指定避難施設名	所 在 地	収容人員
本宮中学校	本宮町本宮730	231
本宮町民センター	本宮町本宮1048-58	63
上地集会所	本宮町本宮602-1	21
大津荷集会所	本宮町大津荷126	15
祐川寺	本宮町請川374	20
小津荷集会所	本宮町小津荷51-1	13
高山集会所	本宮町高山363-1	37
請川地区地域防災拠点施設	本宮町請川480-5	22

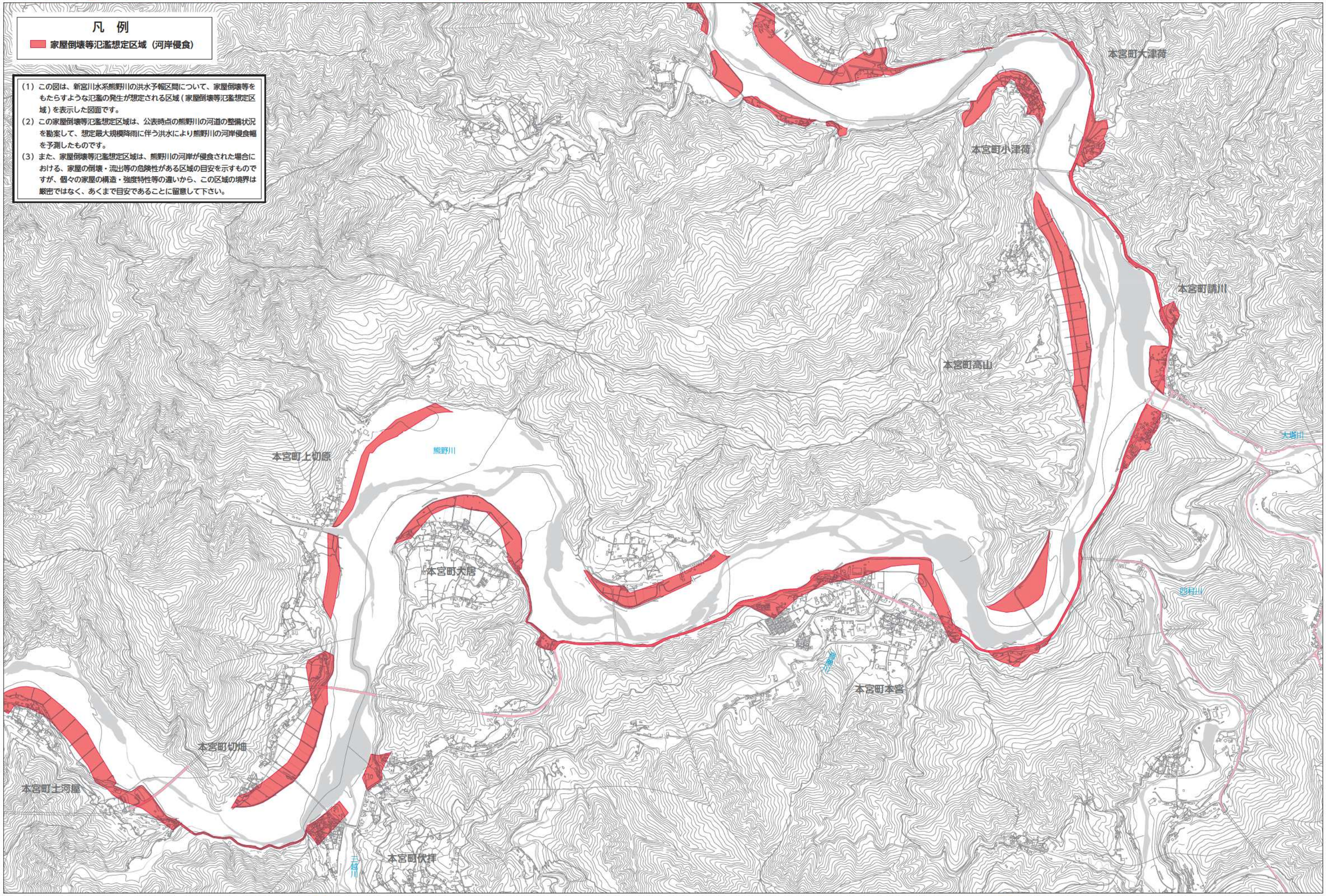
図面［熊野川（浸水時間（全図））］



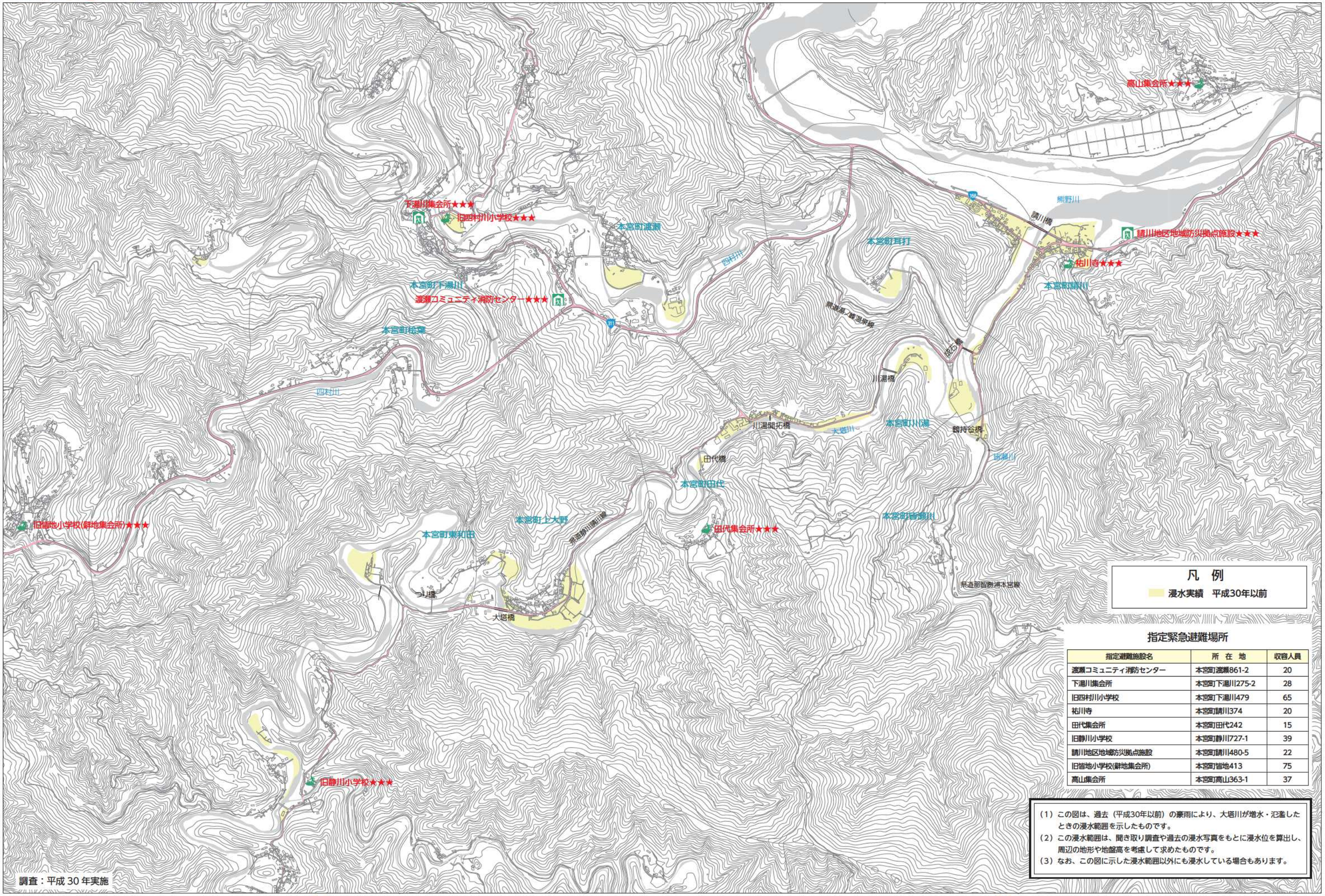
図面［熊野川（氾濫流（全図））］


凡　例
家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）
（1）この図は、新宮川水系熊野川の洪水予報区間について、家屋倒壊等をもたらすような氾濫の発生が想定される区域（家屋倒壊等氾濫想定区域）を表示した図面です。
（2）この家屋倒壊等氾濫想定区域は、公表時点の熊野川の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により熊野川が氾濫した場合の氾濫流の状況をシミュレーションにより予測したものです。
（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、想定を超える降雨による氾濫、対象河川以外の氾濫、高潮及び内水による氾濫（小河川や水路の氾濫）等は考慮していませんので、この家屋倒壊等氾濫想定区域に設定されていない区域においても家屋倒壊・流出等が発生する場合があります。
（4）また、家屋倒壊等氾濫想定区域は、一定の仮定を与えて算定しており、上記の条件に加え、堰防の宅地側には家屋がない更地の状態で氾濫計算していること等の理由から、この区域の境界は厳密ではなく、あくまで目安であることに留意して下さい。
N
0
200
400m
縮尺　1：20,000
本宮町大津荷
本宮町小津荷
本宮町請川
本宮町高山
大塚田
熊野川
本宮町上切原
本宮町大居
迎村川
本宮町本宮
本宮町切畑
本宮町土河屋
本宮町伏拝
井戸川

図面［熊野川（河岸侵食（全図））］



図面［大塔川（浸水実績図）］



凡　例

浸水実績　平成30年以前

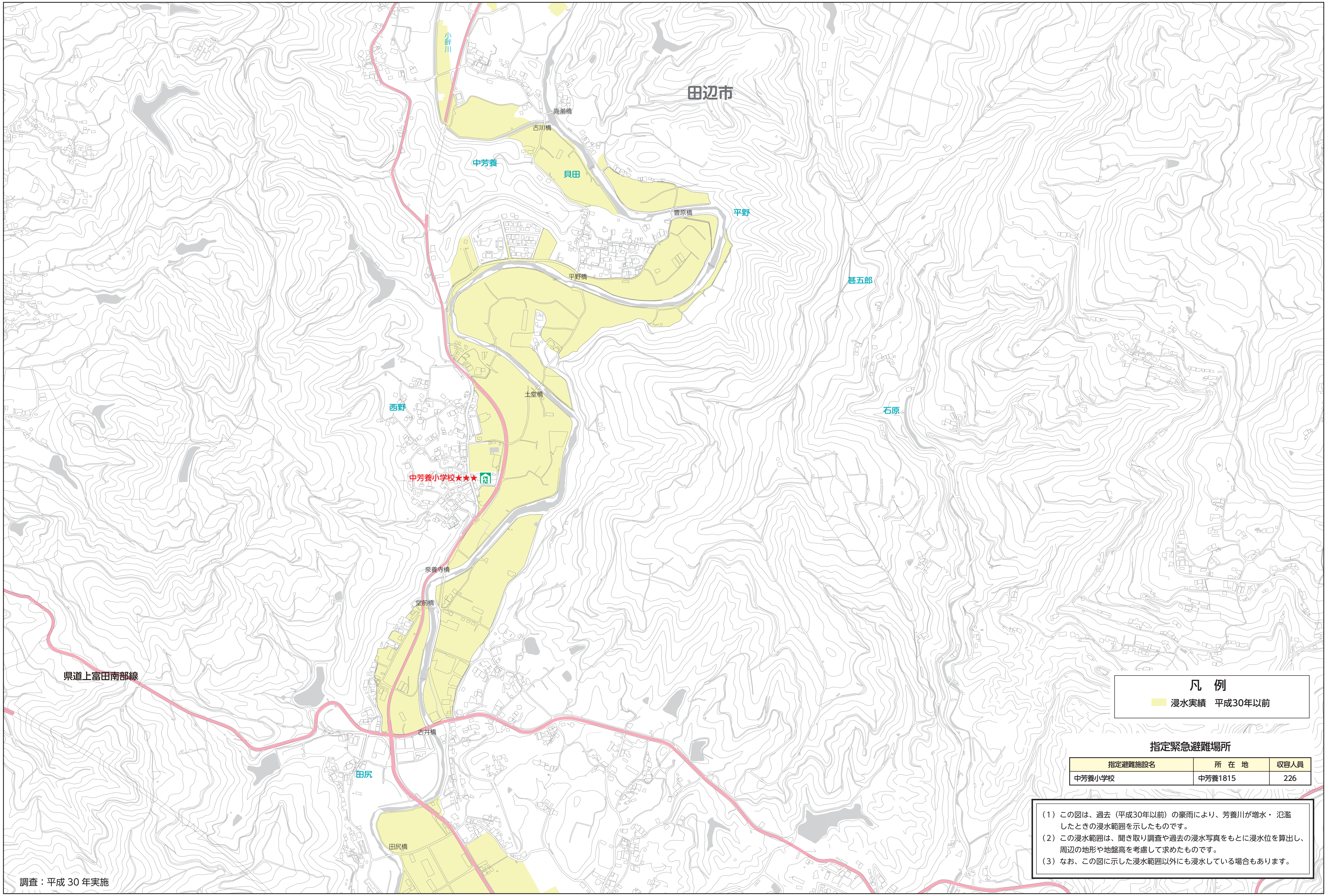
指定緊急避難場所

指定避難施設名	所　在　地	収容人員
渡瀬コミュニティ消防センター	本宮町渡瀬861-2	20
下湯川集会所	本宮町下湯川275-2	28
旧四村川小学校	本宮町下湯川479	65
祐川寺	本宮町請川374	20
田代集会所	本宮町田代242	15
旧静川小学校	本宮町静川727-1	39
請川地区地域防災拠点施設	本宮町請川480-5	22
旧皆地小学校(錦地集会所)	本宮町皆地413	75
高山集会所	本宮町高山363-1	37

（1）この図は、過去（平成30年以前）の豪雨により、大塔川が増水・氾濫したときの浸水範囲を示したものです。
（2）この浸水範囲は、聞き取り調査や過去の浸水写真をもとに浸水位を算出し、周辺の地形や地盤高を考慮して求めたものです。
（3）なお、この図に示した浸水範囲以外にも浸水している場合もあります。

図面［芳養川（浸水実績図）］

縮尺　1：9,000



凡　例

浸水実績　平成30年以前

指定緊急避難場所

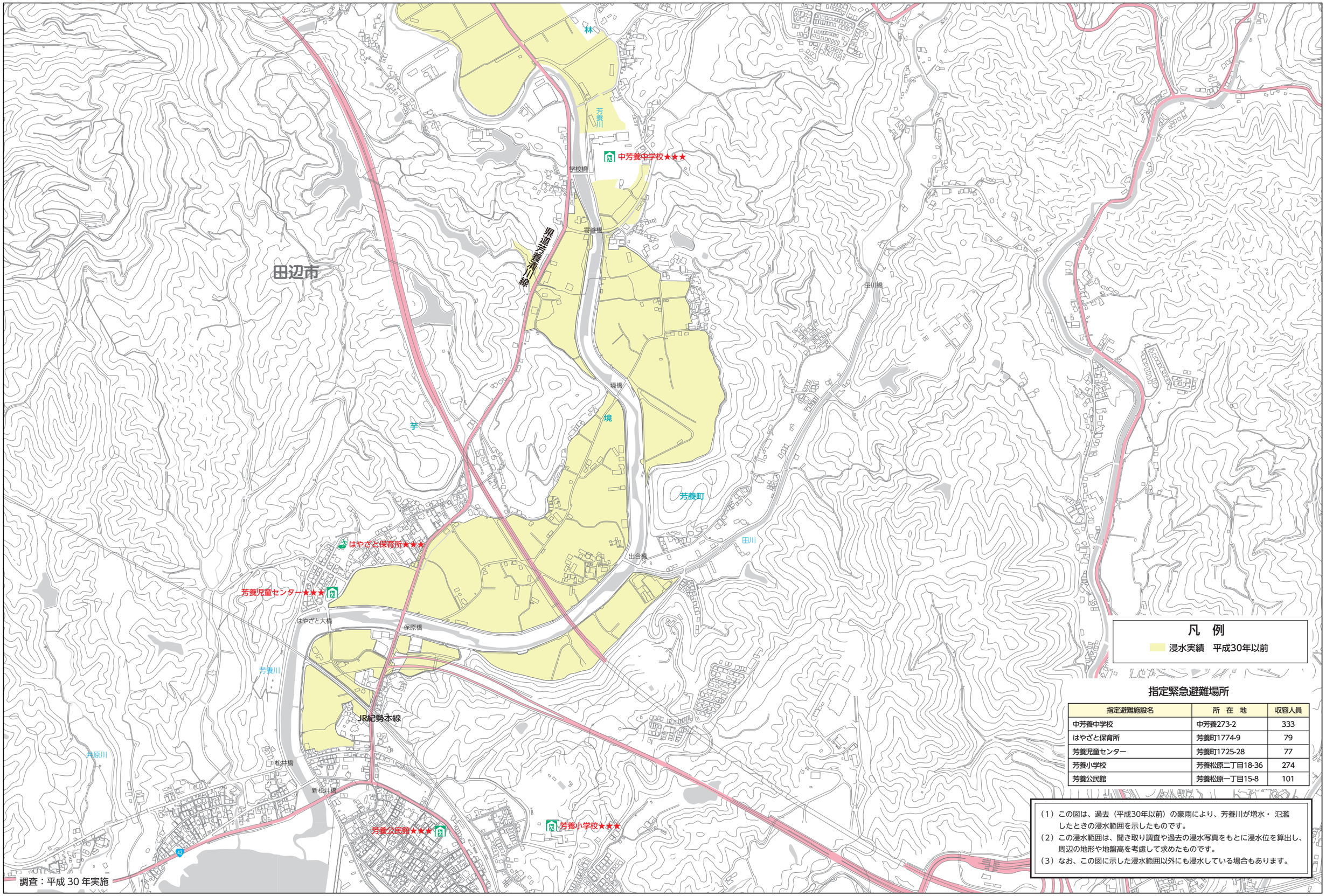
指定避難施設名	所　在　地	収容人員
中芳養小学校	中芳養1815	226

（1）この図は、過去（平成30年以前）の豪雨により、芳養川が増水・氾濫したときの浸水範囲を示したものです。
（2）この浸水範囲は、聞き取り調査や過去の浸水写真をもとに浸水位を算出し、周辺の地形や地盤高を考慮して求めたものです。
（3）なお、この図に示した浸水範囲以外にも浸水している場合もあります。

調査：平成 30 年実施

図面 [芳養川 (浸水実績図)]

N　0　100　200m
縮尺　1：9,000



凡　例

浸水実績　平成30年以前

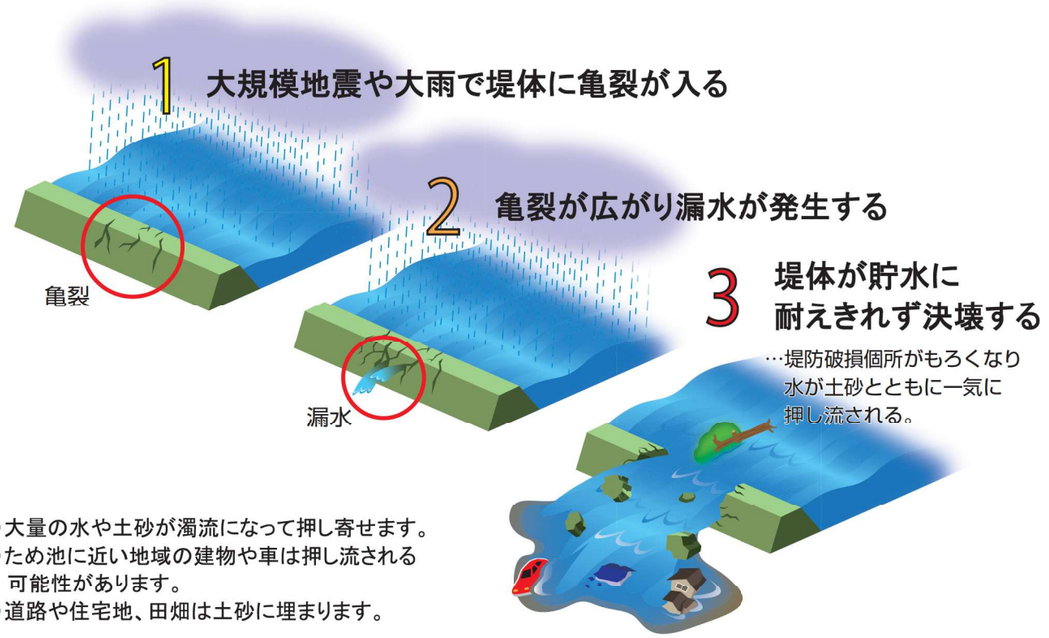
指定緊急避難場所

指定避難施設名	所　在　地	収容人員
中芳養中学校	中芳養273-2	333
はやざと保育所	芳養町1774-9	79
芳養児童センター	芳養町1725-28	77
芳養小学校	芳養松原二丁目18-36	274
芳養公民館	芳養松原一丁目15-8	101

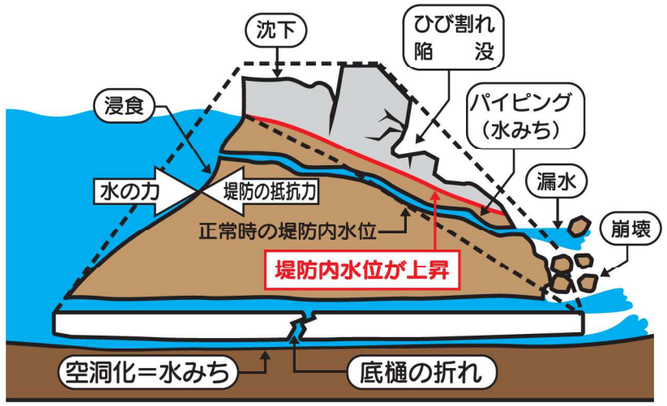
（1）この図は、過去（平成30年以前）の豪雨により、芳養川が増水・氾濫したときの浸水範囲を示したものです。
（2）この浸水範囲は、聞き取り調査や過去の浸水写真をもとに浸水位を算出し、周辺の地形や地盤高を考慮して求めたものです。
（3）なお、この図に示した浸水範囲以外にも浸水している場合もあります。

調査：平成 30 年実施

決壊のおこり方と被害



・大量の水や土砂が濁流になって押し寄せます。
・ため池に近い地域の建物や車は押し流される可能性があります。
・道路や住宅地、田畑は土砂に埋まります。



※堤防に図のような異常が１つでも見られる場合は、決壊のおそれがあるため、すぐに現場を離れて、安全な場所まで避難してください。

注意が必要な場合

【大雨時】
☆急激な水位上昇により流水が堤体を越えようとする場合。
☆漏水が急激に増えた場合や濁りが発生した場合。

気象庁からの気象情報（注意報・警報）

注意報	警報	特別警報
大雨注意報 大雨による災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。	**大雨警報** 大雨による重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。大雨警報には、大雨警報（土砂災害）、大雨警報（浸水害）、大雨警報（土砂災害、浸水害）のように、特に警戒すべき事項が明記される。	**大雨特別警報** 大雨が特に異常であるため重大な災害の発生するおそれが著しく大きいときに発表される。大雨特別警報には、大雨特別警報（土砂災害）、大雨特別警報（浸水害）、大雨特別警報（土砂災害、浸水害）のように、特に警戒すべき事項が明記される。
洪水注意報 大雨、長雨などにより河川が増水し、災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。	**洪水警報** 大雨、長雨などにより河川が増水し、重大な災害が発生するおそれがあると予想されたときに発表される。対象となる重大な災害として、河川の増水や氾濫、堤防の損傷や決壊による重大な災害があげられる。	

避難勧告等の避難情報について

水害・土砂災害について、市が出す避難情報と国や県が出す防災気象情報を、災害発生の危険性の高まりに応じて５段階に分け、避難のタイミングを分かりやすくお知らせします。

警戒レベル	住民がとるべき避難行動	避難情報等		発令の参考となる防災気象情報
警戒レベル５	すでに災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。	市が発令	災害発生情報	警戒レベル５相当情報（大雨特別警報）
警戒レベル４（全員避難）	避難勧告で速やかに安全な場所へ避難しましょう。 屋外に出るのが危険であると判断した場合は、建物内の２階などのより安全な場所へ緊急避難しましょう。	市が発令	避難指示（緊急） 避難勧告	警戒レベル４相当情報（土砂災害警戒情報）
警戒レベル３	避難に時間を要する方は避難を開始しましょう。 その他の方も早めに避難しましょう。	市が発令	避難準備・高齢者等避難開始	警戒レベル３相当情報（大雨、洪水警報）
警戒レベル２	今後の避難に備え、避難場所や持ち出し品の再確認をしましょう。	気象庁が発表	洪水注意報 大雨注意報等	
警戒レベル１	災害への心構えを高めましょう。 情報収集を始めましょう。	気象庁が発表	早期注意情報	

※各種の警報は気象状況によることから、警戒レベル１～５の順番に発表されるとは限りません。

雨の強さと降り方、災害発生の目安

1時間雨量（mm）	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
予報単語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る（ゴーゴーと降り続く）	息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感ずる
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる	傘をさしていてもぬれる		傘は全く役に立たなくなる	
屋内（木造住宅を想定）	雨の音で話し声がよく聞き取れない	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる		道路が川のようになる	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる	
車に乗っていて		ワイパーを速くしても見づらい	高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じブレーキが効かなくなる（ハイドロプレーニング現象）	車の運転は危険	
災害発生状況	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模のがけ崩れが始まる。	山崩れ・がけ崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。

大雨の際の危険箇所

◇地下室

大雨のときは危険なので、早めに避難しましょう。

①地上が冠水すると、一気に地下の方へ水が流れ込む。

②浸水すると電灯が消え、エレベーターも使えなくなる。

③流れ込む水圧で、ドアが開きにくくなる。

④地下では地上の様子がわからない。

◇アンダーパス

鉄道の下など路面が低くなっているところは、水がたまるおそれがあるので、車で入らないようにしましょう。浸水・冠水の危険を感じたら、速やかに車を高台に移動させましょう。

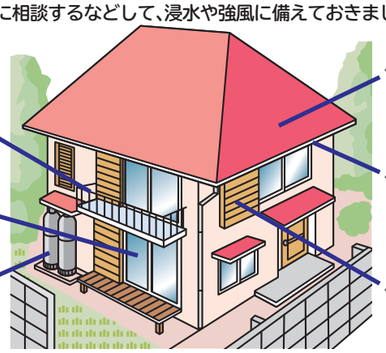
◇川

急に空が暗くなり、雷が聞こえ始めたら、急激に増水するおそれがあるので、川に近づかないようにしましょう。

風水害から身を守るには（日頃の備え）

台風や豪雨は、正確な気象情報を収集し、早くから災害に備え安全対策をすることで、被害を最小限にとどめることができます。台風や豪雨が迫ってからの対策は危険です。日頃から周囲を点検し、自分で改善できないことは専門業者に相談するなどして、浸水や強風に備えておきましょう。

【家屋のチェックポイント】



◇ベランダ
・強風に飛ばされそうなものは置かない

◇窓ガラス
・ひび割れ、破損、ぐらつきがないか確認する

◇屋外の設置物
・プロパンガスのボンベや物置等はしっかり固定する

◇屋根
・かわらやトタンのひび割れ、ずれをなくす
・アンテナをしっかりと固定する

◇雨どい・排水溝
・つなぎ目のはずれ、塗料のはがれがないか確認する
・土砂や落ち葉で詰まらせないように掃除しておく

◇雨戸
・がたつきがないように補強する

洪水発生時における避難の心得

正確な情報収集と早めの避難

台風の接近や大雨の予報などがある場合は、テレビ、ラジオなどの最新の気象情報に注意しましょう。
また、夜間や降雨時の避難が困難であったり、危険が伴う場合があるので、早めの避難を心掛けましょう。

非常持出品を忘れずに

台風の接近時など、災害の発生が予想される場合は、非常持出品に加えて、自分や家族に必要な生活用品や食料を用意して避難するようにしましょう。

避難時は戸締りや火の始末

避難時には火元を点検し、電気のブレーカーを切り、戸締りをするようにしましょう。

可能な範囲で協力、集団での避難

単独での避難は事故にあったときに非常に危険です。
複数人で避難するようにしましょう。
また、隣近所で声を掛け合い、高齢者や身体の不自由な方、子どもなどの避難に可能な範囲で協力しましょう。

危険な場所は避けて避難

ガード下やがけ地、堤防などを通るのは危険です。
近所であっても避けましょう。橋については十分安全を確認してから渡りましょう。

足元を確認しながら避難

冠水した道路は足元が見えないため危険です。
道路の端を通らないようにし、傘や長い棒などで足元を確認しながら進みましょう。

万一避難が遅れたら…（垂直避難）

道路が冠水している場合や夜間などで外に出ることがかえって危険な場合は、自宅や近くの頑丈な建物の２階以上や山側から離れた部屋など、より安全な場所へ緊急的な避難をしましょう。
また、こうした危険な状況になる前に、早めの避難を心掛けましょう。

災害情報の入手

田辺市・和歌山県が発表する避難情報

田辺市ホームページ　http://www.city.tanabe.lg.jp/

田辺市防災行政情報システム『防災・行政メール』　http://bousaigyousei.aamail.aikis.jp/

防災・行政テレフォンガイド　0120-963-910　（フリーダイヤルのため通話料金はかかりません。）

防災わかやま　http://bousai-portal.pref.wakayama.lg.jp/

防災わかやまメール配信サービス　http://bousai-portal.pref.wakayama.lg.jp/mail/mail.html
（気象情報、河川水位情報、雨量情報、避難勧告などの情報を携帯電話やパソコンに電子メールでお知らせするサービスです。無料で登録できますのでぜひご利用ください。）

和歌山県防災ナビ　https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011400/bousai/d00155183.html
[スマホで避難先検索・防災情報のプッシュ通知・家族等が避難した場所の確認・避難トレーニングができるアプリです。ダウンロードおよび利用は無料です。(通信料は別途かかります。)]

台風情報・大雨や洪水注意・警報等

気象庁のホームページ　https://www.jma.go.jp/jma/index.html

地デジ対応テレビのリモコンのｄボタンを押し、防災情報の項目を選択すると、ほぼリアルタイムの防災情報を見ることができます。
（現在はテレビ和歌山とNHK和歌山放送局で見ることができます。）

洪水に備えた事前の心構え

避難場所や避難路を事前に確認

家族が別々に避難することも考えられます。前もって連絡先や集合場所を決めておきましょう。

普段から地域での助け合い活動を

お年寄りや身体の不自由な方など、自ら避難するのが困難な方もいます。普段から気配りをしましょう。

地域の避難訓練に参加しましょう

自治会等の避難訓練に参加しましょう。訓練の際には、ハザードマップを活用しましょう。

日頃からの備えが大切

非常持出品

被災時・非常時にまず持ち出すもので、最初の一日をしのぐために必要なものの一例です。できるだけコンパクトにまとめて避難袋やリュックに入れ、玄関など場所を決めて準備しておきましょう。男性15kg、女性10kg、高齢の人や子供は6kgが持ち運びの目安となります。

	チェック欄	品　名
貴重品類		現金（公衆電話用10円玉）
		預金通帳・印鑑
		健康保険証
		運転免許証
避難用具		懐中電灯
		携帯ラジオ
		予備の乾電池
		ヘルメット・防災ずきん
生活用品		厚手の手袋
		毛布
		ライター・マッチ
		携帯用トイレ
救急用具		処方箋の控え・お薬手帳
		常備薬
		生理用品
非常食品		飲料水
		缶詰
		アメ・チョコレートなど
衣料品等		下着・靴下
		長袖・長ズボン
		防寒用具・雨具・長ぐつ

	チェック欄	品　名
必需品・貴重品		車や家の鍵
		眼鏡・コンタクトレンズ
		補聴器
		持病薬
乳幼児用品		粉ミルク
		哺乳瓶・洗浄剤
		離乳食
		紙おむつ・ウェットティッシュ
		バスタオル・ガーゼ
		母子健康手帳
		ベビーカー・おんぶひも
高齢者用品		おむつ
		入れ歯・洗浄剤

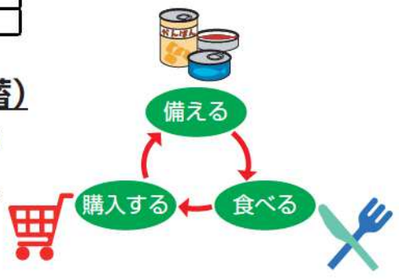
備蓄品（1週間分。最低でも3日分）

避難した後、安全を確認して自宅へ戻り、避難所へ持ち出すことや、自宅で避難生活を送ることを想定して、必要な備蓄品を備えておきましょう。

	チェック欄	品　名
食料品		レトルト食品（ごはん・おかゆなど）・アルファ化米
		インスタントラーメン・カップみそ汁
		飲料水（1人1日3リットルが目安）
避難用具		給水用ポリタンク（生活用水用に水をためておく）
		カセットコンロ
		ティッシュペーパー・ウェットティッシュ
		ラップフィルム
生活用品		紙皿・紙コップ・割り箸
		簡易トイレ
		水のいらないシャンプー
		ビニール袋

実践してみようローリングストック法（日常備蓄）

日常購入している食品や飲料、日用品を普段より多めに購入し、期限が近いものから消費していき、全てなくなる前に購入していく方法です。特別な製品を購入する必要が無く簡単に始められる方法ですので、まずはここから実践してみましょう。



我が家の防災メモ（避難所を確認しておきましょう！）

避難所を確認しておきましょう！

家族の避難所	
第1避難所	第2避難所

家族の集合場所	
第1集合場所	第2集合場所

家族の名前	生年月日	血液型	会社･学校等の電話番号	携帯番号

病院など必要な連絡先を記入しましょう

名称	所在地	電話番号

緊急ダイヤル

消防･救急	119
警察	110
田辺市役所	0739-22-5300(代)
田辺市消防本部	0739-22-0119(代)
田辺警察署	0739-23-0110(代)

災害用伝言ダイヤルの利用方法

災害用伝言ダイヤルは、地震などの大規模な災害の発生により、被災地への通信が増加し、つながりにくい状況になった場合に、NTTにより提供が開始される声の伝言板です。

NTTの災害用伝言ダイヤルのかけ方

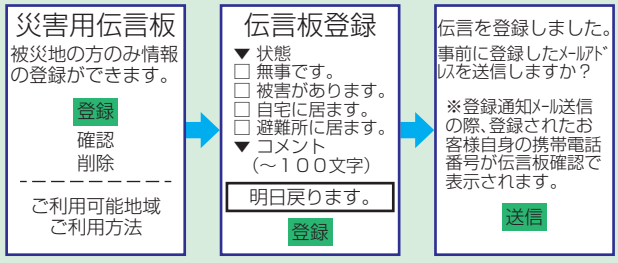
1 7 1 をダイヤルする。

- 録音するときは、**1** をダイヤル → 被災地の人は自宅電話番号を XXXX(XX)XXXX → 録音する
- 再生するときは、**2** をダイヤル → 被災地の人は自宅電話番号を XXXX(XX)XXXX → 再生する

携帯電話災害伝言板の使い方

※携帯電話の会社や機種によって、利用方法が若干異なります。

登録方法

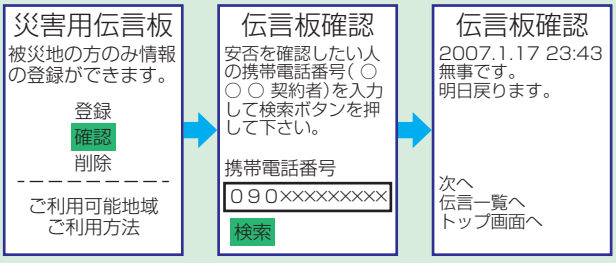


災害時に各携帯サイトに設置される「災害用伝言板」から「登録」を選択

安否状況を入力し、登録

あらかじめ設定したアドレスあてに送信

確認方法



「災害用伝言板」から、「確認」を選択

安否情報を確認したい方の電話番号を入力し、検索

最新の安否情報を選択し、確認

この地図は、田辺市長の承認を得て、同市所管の測量成果田辺市白図（1/2,500）を使用して調整したものです。（承認番号 平成30年9月25日 田都 第281号の2）
「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50万分1地方図、2万5千分1地形図、数値地図50mメッシュ（標高）及び電子地形図25000を使用した。（承認番号 平30情使、第584号）」

発　行：令和２年２月
担当課：田辺市建設部管理課
連絡先：0739-26-9966(直通)